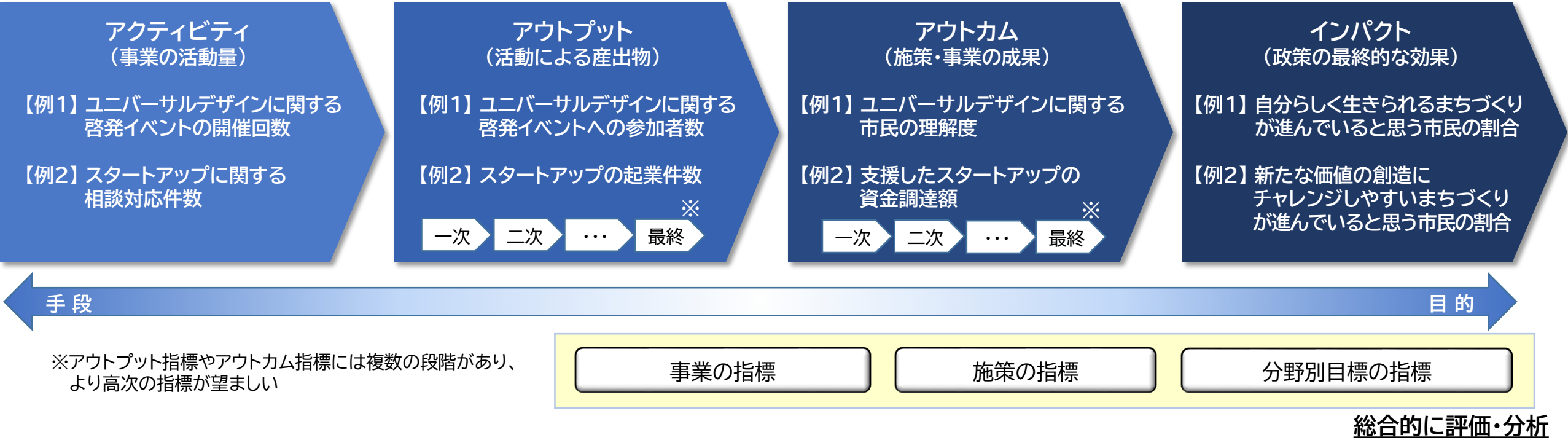


■ 指標設定のロジックモデル

(公財)福岡アジア都市研究所「ウェルビーイング～新たな都市の評価に関する研究～」をベースに作成



■ 第9次基本計画の課題等を踏まえた指標設定の考え方

課題① 分野別目標や施策全体の評価

- ⇒ 政策の効果を適切に測るため、分野別目標、施策、事業の各対象に応じた効果的な指標を設定する。
- 分野別目標には、めざす姿に対する <インパクト>を測る「市民意識」を設定
 - 施策には、施策全体の効果を測るため 施策を構成する事業における高次の<アウトカム>指標を複数設定
 - 事業には、事業自体の効果を測る <アウプット>または<アウトカム>指標を設定

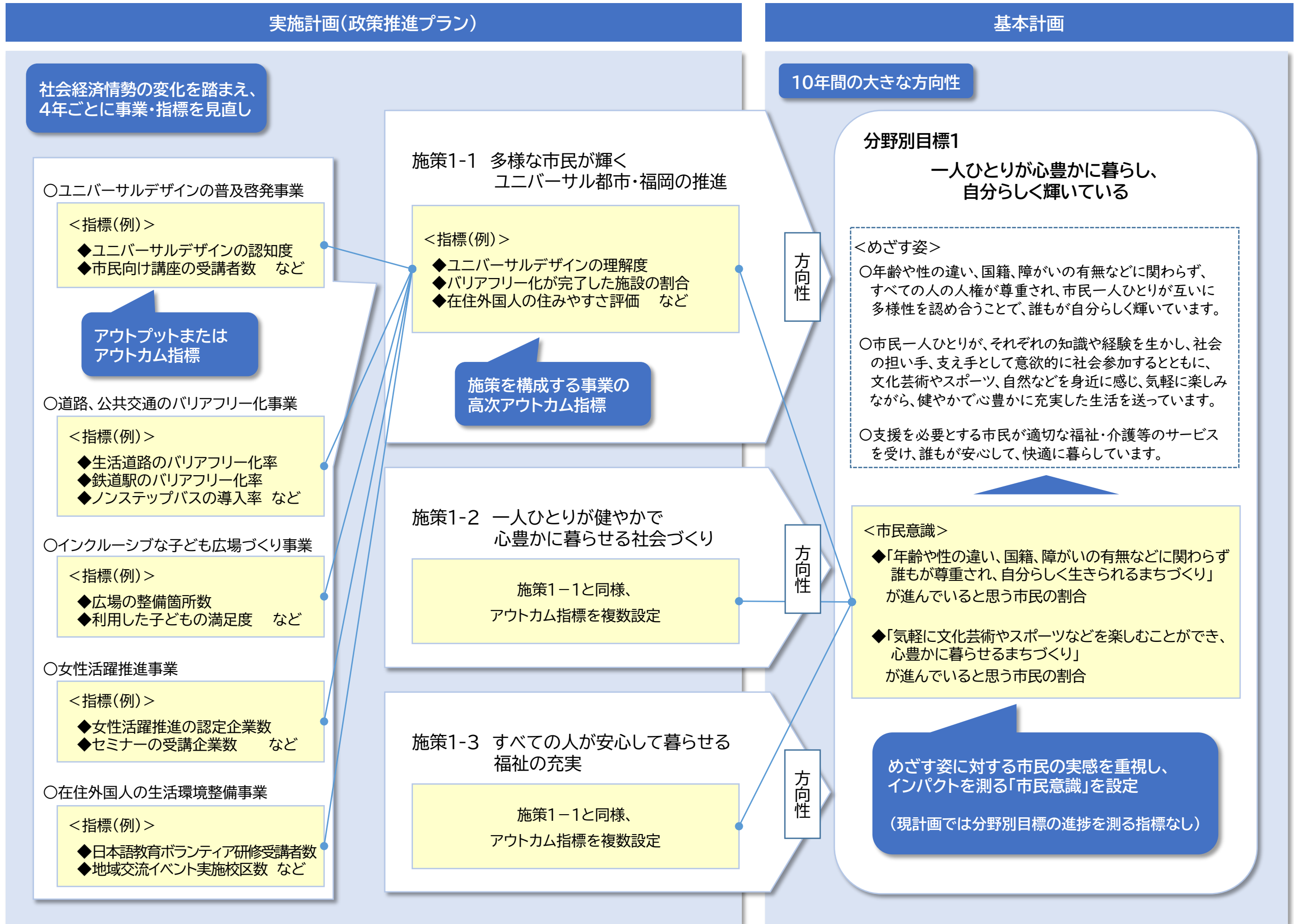
課題② 外的要因の影響や社会経済情勢の変化への対応

- ⇒ 外的要因による影響ができる限り少ない指標を選択するとともに、施策や事業の指標を「政策推進プラン」に位置づけることで、4年ごとに事業及び指標の見直し、最適化を図り、計画期間中の社会経済情勢の変化や不測の事態にも的確に対応しながら、「基本計画」の市民意識とあわせて総合的に評価・分析を行っていく。

課題③ 適切な目標値の設定

- ⇒ 施策や事業の指標設定にあたっては、目標値の妥当性を十分検討するとともに、できる限り毎年度計測可能な指標を設定する。なお、数年おきに実施される国の統計調査を出典とするものなど、毎年度の計測が困難な場合は、指標数を増やすことにより補完し、目標値の設定が馴染まない指標については、傾向分析を行うことも検討する。

■ 指標体系(イメージ)



■ 分野別目標間の相乗効果(例)

実施計画(政策推進プラン)

○A事業

○B事業

○C事業

○都心の森1万本プロジェクト

<指標(例)>

- ◆都心部における植樹本数
- ◆維持管理ボランティア数 など

施策4-1

施策4-2 花や緑などによる潤いや安らぎを感じるまちづくり

<施策の方向性(抜粋)>

…市民が花や緑などの身近な自然に囲まれ、潤いと安らぎを感じられるまちづくりを進めます。

<指標(例)>

- ◆緑のまちづくり活動に参加した市民の人数 など

施策4-3

施策4-4

○D事業

○E事業

○F事業

○G事業

○H事業

施策6-1 都市活力を牽引する
都心部の機能強化と魅力向上

<施策の方向性(抜粋)>

…花や緑、文化芸術、歴史などにより、彩りと潤い、賑わいがある魅力的なまちづくりを進めます。

<指標(例)>

- ◆都心部における歩行者数 など

施策6-2

施策6-3

施策6-4

基本計画

分野別目標4 人と自然が共生し、身近に潤いと安らぎが
感じられる

<めざす姿(抜粋)>

- ◆美しい街並みや地域の特性を生かした魅力的な景観が形成されるとともに、街中には心地良い花や緑が溢れ、市民が身近に潤いと安らぎを感じています。

<市民意識>

- ◆「海や山などの豊かな自然を守り、生かすとともに、身近な花や緑などに安らぎを感じられるまちづくり」が進んでいると思う市民の割合
- ◆「市民や企業、行政などが脱炭素やリサイクルなどに取り組んでいるまちづくり」が進んでいると思う市民の割合

分野別目標6 都市機能が充実し、
多くの人や企業から選ばれている

<めざす姿(抜粋)>

- ◆都心部において、先進的なオフィス、商業施設などの高度な都市機能が充実するとともに、水辺や緑、文化芸術、歴史などによって彩りや潤い、賑わいが溢れる魅力的な都市空間が形成されています。

<市民意識>

- ◆「オフィス、商業施設、公共交通などの都市機能が充実しているまちづくり」が進んでいると思う市民の割合
- ◆「都心部に、自然や文化などを生かした憩いと賑わいがあり、歩いて楽しいまちづくり」が進んでいると思う市民の割合

生活の質の向上

都市の成長

■ 市民意識の項目数について

計画素案では、8つの分野別目標にそれぞれ3つずつ、計24の「めざす姿」を掲げるとともに、相互に関連が深い項目や、市民が実感しづらい項目などを考慮し、16の「市民意識」を設定しているが、「めざす姿」と「市民意識」の数を合わせるべきではないかとのご意見を踏まえ、方向性を検討するもの。

目 標	24項目案 ★:特に回答しづらいことが想定される項目	⇒ 集約の考え方等	16項目案
1	1 年齢や性の違い、国籍、障がいの有無などに関わらず、誰もが尊重され、自分らしく生きられるまち	関連が深いため集約	1 年齢や性の違い、国籍、障がいの有無などに関わらず、誰もが尊重され、福祉が充実し、自分らしく安心して暮らせるまち
	2 福祉や介護などを受けることができ、安心して暮らせるまち ★		
	3 仕事や文化芸術、スポーツなどにより心豊かに充実した生活ができるまち	—	2 仕事や文化芸術、スポーツなどにより心豊かに充実した生活ができるまち
2	4 子どもが社会全体で見守られ、子どもを望む人が出産・子育てしやすいまち	—	3 子どもが社会全体で見守られ、子どもを望む人が出産・子育てしやすいまち
	5 子どもや若者の権利が尊重され、心身ともに健やかに育つまち ★	関連が深いため集約	4 子どもや若者が心身ともに健やかで、学び、成長できるまち
	6 子どもや若者が様々なことを学び、次代を担う人材として成長できるまち		
3	7 住んでいる地域で、人と人のつながりや支え合いがあるまち	—	5 住んでいる地域で、人と人のつながりや支え合いがあるまち
	8 道路、上下水道、河川などの整備や、地域の繋がりなどにより、災害への備えができているまち	関連が深いため集約	6 防災や防犯など、安全・安心に暮らすための備えができているまち
	9 防犯、消防、医療などが整い、安全で安心して暮らせるまち		
4	10 海や山などの自然と都市的な魅力のバランスがとれた暮らしやすいまち	関連が深いため集約	7 海や山などの豊かな自然が守られ、身近に花や緑があり、潤いと安らぎを感じることができるまち
	11 身近に花や緑があり、潤いと安らぎを感じることができるまち		
	12 市民や企業、行政などが脱炭素やリサイクルなどに取り組んでいるまち	—	8 市民や企業、行政などが脱炭素やリサイクルなどに取り組んでいるまち
5	13 自然や歴史、文化芸術、食などの観光資源を活かし、人々を惹きつけるまち	関連が深いため集約	9 自然や歴史、文化芸術、食などの観光資源を生かし、人々を惹きつけるまち
	14 舞鶴公園や大濠公園が、市民の憩いや観光スポットになっているまち ★		
	15 スポーツ観戦や音楽イベントなどのエンターテインメントを楽しめるまち	—	10 スポーツ観戦や音楽イベントなどのエンターテインメントを楽しめるまち
6	16 都心部にオフィスや商業施設、自然、文化などが充実しているまち	相互に関連するため ビジネスの視点と 賑わいの視点で再編	11 オフィス、商業施設、公共交通などの都市機能が充実しているまち
	17 市内の各拠点に都市機能が充実し、公共交通が繋がるまち		12 都心部に、自然や文化などを生かした憩いと賑わいがあり、歩いて楽しいまち
	18 ビジネスが集まり、仕事の選択肢が充実しているまち		
7	19 地場中小企業や農林水産業などにより、地域経済が活性化しているまち ★	市民が実感しやすい内容に絞り込み	13 野菜や魚など、新鮮でおいしい農水産物を食べられるまち
	20 新たな技術やサービスの創造などにチャレンジしやすいまち ★	関連が深いため集約	14 人や企業が集まり、新たな技術やサービスの創造などにチャレンジしやすいまち
	21 人や企業が集まり、連携し、様々な社会課題を解決する先進的なまち ★		
8	22 博多港や福岡空港の利便性が高く、九州と世界をつなぐまち	—	15 博多港や福岡空港の利便性が高く、九州と世界をつなぐまち
	23 世界各国の人から働きやすく、住みやすい場所として選ばれているまち ★	関連が深いため集約	16 世界各国の人から働きやすく、住みやすい場所として選ばれ、国際社会で存在感があるまち
	24 世界中の社会課題解決に貢献し、国際社会で存在感があるまち ★		

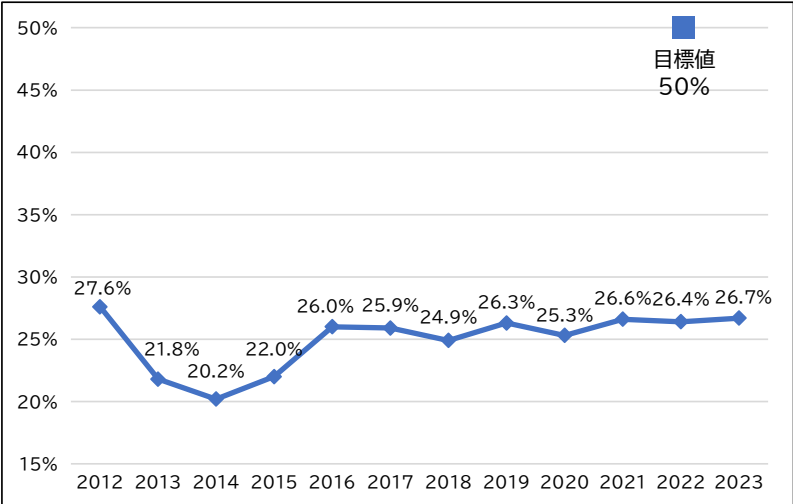
■ 集計・評価方法について

第9次基本計画における課題を踏まえ、「市民意識」の集計・評価方法について、方向性を検討するもの。

(1) 第9次基本計画で課題となった事例

【アンケート】小・中・特別支援学校の教育活動について満足していますか？ (単位:%)

回 答	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
満足	27.6	21.8	20.2	22.0	26.0	25.9	24.9	26.3	25.3	26.6	26.4	26.7
不満	22.4	12.6	13.6	12.7	10.9	9.2	8.4	9.4	8.1	7.6	8.7	8.2
わからない、無回答	50.0	65.6	66.2	65.3	63.1	64.9	66.7	64.3	66.6	65.8	64.9	65.1



「満足」の推移

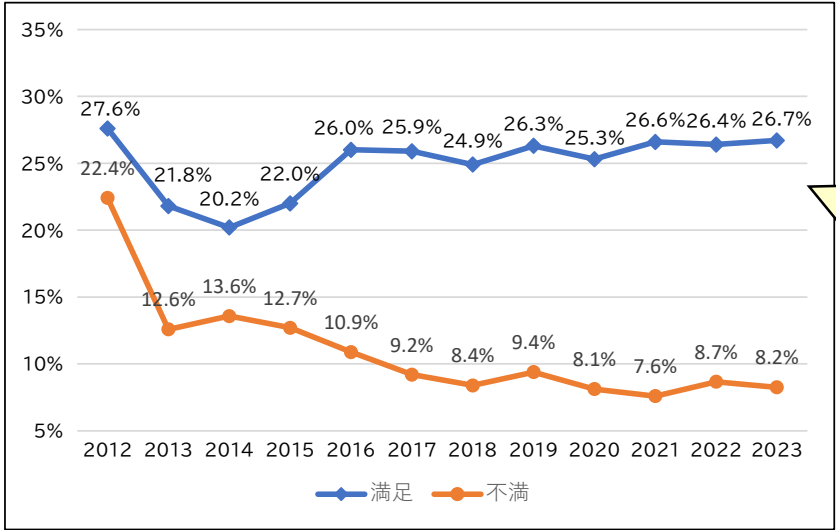
肯定的回答(満足)のみに着目すると

◆初期値を下回り、改善傾向なし ◆4人に1人が満足 (=4人に3人が不満?)
⇒否定的回答が減少していることや、「わからない、無回答」が6割超を占めることが見えない

(2) 第10次基本計画における方向性(案)

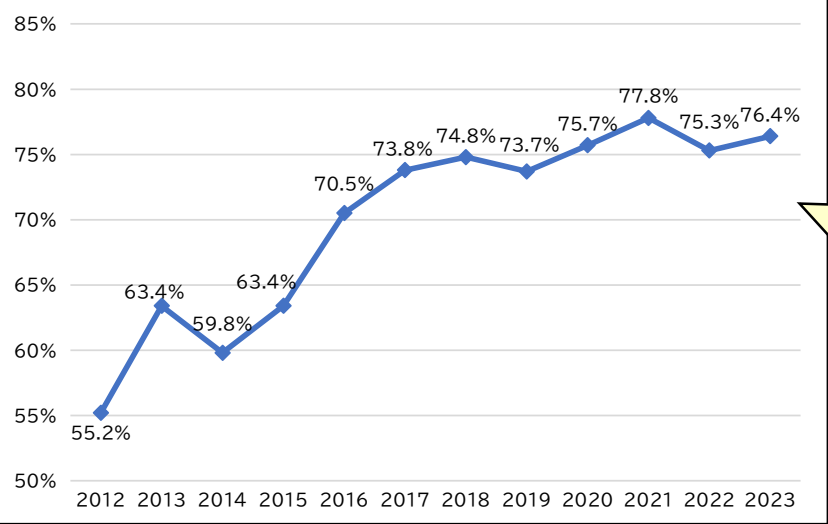
以下の2つのグラフにより、肯定的回答と否定的回答の傾向を多角的な視点で評価していく。

① 肯定的回答と否定的回答を併記



肯定的回答は横ばいである一方、否定的回答が減少傾向にあることを可視化

② 分母から「わからない、無回答」を除いて再集計



「わからない、無回答」を除くことで、当事者等と推定される層における回答傾向を分析